事業所名　ここ・みるプラス

# 児童発達支援　支援プログラム

作成日　2025 年　1 月　27 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | ～子ども達の今とこれからのために～　専門性の高い支援(療育・言語訓練・学習支援)で子ども達の力と自信を育てます。 | | |
| 支援方針 | | 1人ひとりに寄り添い、できたを積み重ねる楽しさを味わいながら力と自信を伸ばす。 | | |
| 営業時間 | | 9 時　0 分から　18 時　30 分まで | 送迎実施の有無 | あり　(なし) |
| | | 支　援　内　容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ●健康管理：保護者から様子(体調、食事、睡眠、機嫌など)の聞き取り及び視診を行います。療育中の小さな変化に気付き対応できるように、様々な視点から判断し支援することができるよう心掛けています。<br>●基本的生活習慣の獲得：食事、排泄、衣服の着脱などが身に付くよう環境を整え、自信を付けながら出来ることを増やしていけるよう支援しています。 | | |
| | 運動・感覚 | ●姿勢・運動動作の向上：粗大運動の発達を促すサーキットや公園遊びなどの活動、微細運動の発達に繋がる製作やひも通しなどを行い、快活に体を動かせるようにするための支援をしています。・感覚統合の土台を形成する遊びや活動を多く取り入れ、楽しみながら力をつけられるよう環境を整えています。 | | |
| | 認知・行動 | ●行動形成：遊びの中での他者との関わりを通して適切な行動の習得が進んでいくように、一人ひとりの特性を理解した支援を行っています。<br>●概念形成：製作・感覚遊び・公園散策・体操・楽器遊びなどの楽しい活動を通して、様々な概念形成や粗大運動～手指の巧緻性にアプローチしたり感覚統合を意識したプログラムを取り入れています。 | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ●言葉を始めとしたコミュニケーションの向上：自分の要求や気持ちを伝える力が伸びていくように、して欲しいことや気持ちを一緒に整理したり気持ちの代弁をしたりするなど、一人ひとりに寄り添いながら支援できるよう心掛けています。写真や絵カードを利用した課題や視覚的な支援をしています。 | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ●信頼関係を築き社会性を育む：身近な人と信頼関係を築き、安心できる環境の下で伸び伸びと過ごすことができるよう支援しています。平行遊びから連合遊び、共同遊びへと成長していく過程で他者との関わりを楽しみ、様々な経験を通して社会性を育むことができるよう働きかけています。 | | |
| 家族支援 | | 原則月１回の頻度で保護者の方と面談をする機会を設けています。ここ・みるプラス内でどのように過ごしているかを伝え、家庭や園での様子の聞き取りを行うことで、支援内容を明確にし、一人ひとりに合わせた関わり方が出来るようにしています。 | 移行支援 | ・必要に応じ、相談支援事業所や園と連携を取り、関わり方を統一することで本人の成長がより促されるよう支援しています。<br>・就学を見据え、着席しながら活動に参加する機会を設け、日常生活を送るうえで必要となる支援を行うなど、見通しを立て継続した支援が出来る環境を整えています。 |
| 地域支援・地域連携 | | 名東区が開催しているそだつ部会に参加し、他事業所の方と情報を共有することで、地域に即した支援ができるようにしています。 | 職員の質の向上 | ・内部研修や事例検討を定期的に行うことで支援の質の向上を目指しています。また、週に一度必ず会議を行い、全職員で情報を共有することで、どの職員も同じ支援ができるようにしています。 |
| 主な行事等 | | ・季節に合わせた絵本・紙芝居・製作などを通し、日本の年中行事に触れるきっかけを多く取り入れられるようにしています。 | | |